

■会告

■日本放射光学会第132回評議員会議事録

日時：2021年10月30日（土） 14：00～16：30

場所：Web（Zoom）会議

出席者（30名）：足立純一，足立伸一，雨宮健太，雨宮慶幸，有馬孝尚，五十嵐教之，池本夕佳，太田俊明，岡島敏浩（会計幹事），奥田太一，木下豊彦（学会賞幹事），木村昭夫，木村真一，熊坂崇（渉外幹事），解良聡，小杉信博，小林幸則，近藤寛，島田賢也，清水伸隆，鈴木基寛，田中義人，為則雄祐，中尾裕則，初井宇記，矢橋牧名，横山利彦（会長），若林裕助（編集幹事），和達大樹（広報幹事）
松井文彦（庶務幹事）

オブザーバー出席者（2名）：朝倉清高（前会長），小嗣真人（前行事幹事）

欠席者（2名）：阿部仁（行事幹事），高橋嘉夫

事務局：佐藤亜己奈

- 0-1. 松井庶務幹事より，朝倉清高・前会長と小嗣真人・前行事幹事がオブザーバー出席する旨，説明があった。
- 0-2. 会長挨拶を行った。
- 0-3. 評議員の互選により，木村真一評議員を本会議の議長に選出した。

〈審議事項〉

1. 2022年度会長活動方針
横山会長より2022年度の活動方針について，放射光施設の連携協力，放射光ユーザーの拡張，国際協力，人材育成を4つの柱に，前執行部の方針を継続して放射光科学のさらなる発展を目指すとの説明があった。
2. 2022-2023年度幹事
横山会長より2022-2023年度幹事について，下記の通り選出した旨説明があり，これを承認した。
庶務幹事：松井文彦，行事幹事：阿部仁，編集幹事：若林裕助，渉外幹事：熊坂崇，会計幹事：岡島敏浩，広報幹事：和達大樹，学会賞幹事：木下豊彦
3. 2022年度学会組織および事業計画
松井庶務幹事より，2022年度の学会組織（会長，幹事，評議員，各委員会委員）および事業計画について説明があり，これを承認した。
4. 2022年度編集幹事活動方針
若林編集幹事より2022年度の活動方針について，次世代放射光施設建設などタイムリーな話題に対する早期対応による速報的な記事の充実，ビームラインへの冊子寄付によるユーザーへの「試読」機会設定の検討，新しい連載企画「情報科学を活用した放射光実験（仮題）」の検討などを行っていきたいとの説明があり，これを承認した。

5. 2022年度渉外幹事活動方針
熊坂渉外幹事より2022年度の活動方針について，国内および国外の関連する学会，および機関等との交流を深めることを目的とし，放射光の認知度を高めるのに必要な互いにメリットのある連携を行うことを目指すため，関連する学会・機関等との連携・情報発信，共催・協賛・後援等の承認，学会会員への関連情報の提供，特別賛助会員，賛助会員への対応を行っていききたいとの説明があり，これを承認した。
6. 2021年度暫定決算
岡島会計幹事より，2021年度暫定決算および資産負債明細について，若手研究会開催費は年度内に2回開催を予定していたが1回は次年度開催となったため1回分の費用となったこと，会議が全てオンラインとなったため会議費の支出が0となったこと，AOFSRR協賛金は2021年度は不要のため支出無し，国際活動支援奨学金も支出無し，今年度からマイページを導入したためマイページとクレジットカード手数料の項目が増えたことなどの説明があった。暫定決算案を承認し，税理士による会計監査を済ませた最終版の決算書を次回評議員会で報告することとした。
7. 2022年度暫定予算
岡島会計幹事より，2022年度暫定予算について，2021年度に引き続き2022年度の学生会員会費は無料であること，若手研究会開催費は2021年度繰越分を含めた2年分の予算であることなど説明があり，この予算案で引き続き検討を進めることを承認した。
8. 学会各賞選考結果について
横山会長より，学術賞等選考委員会において選考を行った結果，下記の通り各賞の受賞者を推薦する旨の説明があり，これを承認した。
[第26回奨励賞]
河口彰吾 会員（（公財）高輝度光科学研究センター 回折・散乱推進室）
「ハイスループットその場粉末回折自動計測システムの開発」
鈴木博人 会員（東北大学学際科学フロンティア研究所）
「共鳴非弾性 X 線散乱による強相関量子物質における素励起の研究」
[第9回功労報賞]
山本安一 氏（立命館大学 SR センター）
[第5回放射光科学賞]
野村昌治 氏（高エネルギー加速器研究機構）
「XAFS 計測技術の開発による放射光科学への貢献」
9. 会員異動
松井庶務幹事より，第131回評議員会以降の入会申請に関して，入会：正会員95名（内学生78名），シニア会員12名の報告があり，これを承認した。退会に関して，正会員38名（内

学生10名), 賛助会員1社1口を確認した。
 また, 会費3年間未納のための自動退会者(正会員31名, 賛助会員1社1口)および会費2年滞納者(正会員30名), 連絡先不明(正会員23名)のリストを確認した。

自動退会者については継続をお願いできそうな会員に一度評議員から働きかけて, 次回もう一度審議することとした。

10. 協賛・後援・共催

熊坂渉外幹事より, 本学会に対する協賛・後援・共催依頼について事後承認の依頼があり, 協賛14件, 後援3件を承認した。

11. 広報委員会の設置について

松井庶務幹事より, 昨年から広報委員会を設置しているが, 細則および委員会規定に広報委員会についての記載がないため, 次回評議員会で改定案を示して審議したいとの説明があった。

12. 高良賞・佐々木賞について

木下学会賞幹事より, 高良賞・佐々木賞の設置に関して, これまでの経緯や歴代会長・評議員からの意見について説明があった。これらを踏まえて検討した結果, 以下のように提案したいとの説明があった。

- 委員会は幹事会メンバーが兼ねて検討を行う。
- 高良賞は, 施設や学会運営などを含め, 放射光科学全般に関しての貢献があった会員を対象とする。
- 佐々木賞は, 奨励賞よりも少し上の世代(40~50歳程度の中堅)の会員を対象とした賞とする。

審議の結果, 高良賞・佐々木賞ともに中堅層への賞として分野に応じて分けてはどうかとの意見が多く, その方向で検討を進めることとした。また, 分野横断的な研究に配慮し分野を明確に区切らない工夫が必要であるという意見が出された。このための方策として, 公募段階では両者をまとめて受け付け, 審査段階で各賞に振り分けるなどの提案がなされた。どのような分野で分けるかなどの詳細は, 内規案, 公募案とともに次回評議員会で提案することとした。

13. 功労報賞公募要領の修正

横山会長より, 功労報賞の公募要領について, 推薦理由に候補者自身の特筆すべき貢献などをより具体的に記述してほしい旨, 追記したいとの提案があり, これを承認した。

14. 会長選挙に関する細則改定案

現在の細則では最低3名を次期会長候補者とするよう規定されているが, 推薦末位同数が極端に多数の場合の対応策について規定がないため, 前回の評議員会で対応策の検討を進めることとなっていた。

これについて横山会長より, 「最低3名(上限なし)ではなく原則3名とし, 推薦順位末位が同数過多の場合, 正会員在籍年数の長い被推薦者を上位として3名の候補者を確定, 在籍年数も同じ場合は3名以上の候補者とする」との提案があった。また, 選挙での得票数同数の場合現会長が決定するとなっているが, これについても問題があるように思われるため, 「票数が同じ場合は, 評議員会で決選投票を行う。会長候補者が評議員の場合, 選挙権はないものとする。評議員会での決選投票も同数の場合, 現会長が決定する。」としたいとの提案があった。

審議の結果, これらを承認し, 下記の通り細則を変更することとした。

(改訂前)	
細則 第2章第5条	1. 評議員会は, 会長任期2年目の6月15日以前に, 全正会員に正会員の中から次期会長候補者の推薦を求め, その中から上位3位以内に推薦された者に予め受諾の意志を確認した上で次期会長候補者とする。ただし候補者は最低3名とし, 辞退者が出て3名を下回った場合は順位を繰り上げて上位3名を候補者とする。 2. 評議員会は, 次期会長候補者全員の氏名・所属を全正会員に通知して会長任期2年目の7月31日以前に投票を求める。次期会長は, その投票結果に従い決定される。ただし, 票数が同じ場合は, 現会長が決定する。
(改訂後)	
細則 第2章第5条	1. 評議員会は, 会長任期2年目の6月15日以前に, 全正会員に正会員の中から次期会長候補者の推薦を求め, その中から上位3位以内に推薦された者に予め受諾の意志を確認した上で次期会長候補者とする。ただし候補者は原則3名とし, 辞退者が出て3名を下回った場合は順位を繰り上げて上位3名を候補者とする。 <u>推薦順位末位が同数過多の場合, 正会員在籍期間の長い被推薦者を上位として3名の候補者を確定する。ただし, 正会員在籍期間も同じ場合は3名を超えても候補者とする。</u> 2. 評議員会は, 次期会長候補者全員の氏名・所属を全正会員に通知して会長任期2年目の7月31日以前に投票を求める。次期会長は, その投票結果に従い決定される。ただし, 票数が同じ場合は, <u>評議員会で決選投票を行う。会長候補者が評議員の場合, 決選投票の選挙権はないものとする。評議員会での決選投票も同数の場合, 現会長が決定する。</u>

15. 放射光60周年事業について

2022年に放射光60周年の記念シンポジウムを予定していたが, COVID-19の影響で延期することとなっていた。

横山会長より, 2023年で1963年の共同利用運転開始から60周年ということで, 2023年に60周年記念シンポジウムを開催してはどうかとの提案があり, これを承認した。

16. 国際放射線防護委員会(ICRP)の国際シンポジウムICRP2023について

横山会長より、国際放射線防護委員会 (ICRP) から国際シンポジウム ICRP2023への協力依頼が届いている旨、説明があった。サテライトイベントの企画等は分野的に難しい部分もあるため、会員への周知とサイトリンクのみ協力をしたいとの提案があり、これを承認した。

17. 実験試料の宅配便運送に関する要望提出への協力について
熊坂渉外幹事より、タンパク質結晶回折測定など構造生物の放射光実験では、一般に測定試料をドライシッパーと呼ぶ専用容器で施設に送付しているが、2013年頃より鉄道車両への持ち込みが制限され、2021年夏頃から宅配便での送付も困難になってきており、近々放射光実験に大きな支障が生じ兼ねない差し迫った状況にあるといった説明があった。利用者のルール遵守を促しつつ、ドライシッパーの交通機関や宅配便での輸送における適用除外を求めて、関係省庁・団体等への働きかけを進める必要がある、日本放射光学会にもこの活動をご支援いただきたいとの提案があり、これを承認した。
18. データフォーマットワーキンググループ新設について
横山会長より、リモート実験等諮問委員会報告・答申を受けて、データフォーマット・データ公開に関するワーキンググループを新設したいとの提案があり、これを承認した。

〈報告事項〉

1. 2021年度事業報告
松井庶務幹事より、2021年度の事業について報告があった。
2. 第13回基礎講習会報告
小嗣前行事幹事より、2021年9月14日(火)~15日(水)にオンラインで開催した第13回基礎講習会「イチからわかる放射光 基礎から応用まで」のプログラム、参加者数、収支などについて報告があった。
3. 第13回若手研究会準備状況
小嗣前行事幹事より、第13回若手研究会「先端的レーザー分光測定技術の進化とその応用」の準備状況について報告があった。2021年12月15日(水)~16日(木)にオンラインで開催予定。
4. JSR2022準備状況
小嗣前行事幹事より、2022年1月7日(金)~9日(日)に開催する第35回年会・合同シンポ(JSR2022)の準備状況について、これまで8、9日をオンライン開催、7日をハイブリッド開催ということで検討を進めてきたが、コロナ禍の状況を踏まえて、7日の懇親会と現地受付を取りやめ、7日の講演セッションをオンライン開催、学会三賞の授賞式は東京大学小柴ホール(オンサイト)で実施し、ライブ配信をする(但し、現地出席については参加者の意思を尊重する)こととしたとの説明があった。
また、学生発表賞に関する変更として、学生発表賞を3回連続受賞した場合「学生特別発表賞(仮称)」を授与することとなったとの説明があった。
5. 会誌編集状況
若林編集幹事より、会誌編集状況について報告があった。34巻6号は合同小特集「協奏的量子ビーム研究の最前線-蓄電池・ソフトマター」、35巻3号も特集号を予定しているとの説明

があった。

6. 広報業務報告
和達広報幹事より、2021年8月から会員マイページの運用を開始したことについて報告があった。また、今後の活動として、マイページの改良、ホームページの改訂、若手の活動の活性化を検討しているとの説明があった。
7. 量子ビーム関連学会長連絡会
横山会長より、2021年9月6日に、中性子学会、陽電子科学会、中間子科学会、日本放射光学会の会長・庶務幹事等および文科省量研室のメンバーで量子ビーム関連学会長連絡会を開催したとの報告があった。量研室から関連学会への期待に関する資料が示され回答を求められている部分があるため、後日評議員に資料を共有しメールで意見を聴取したいとの説明があった。
8. リモート実験等諮問委員会
朝倉前会長より、リモート実験等諮問委員会をこれまで4回開催し議論を行ってきたとの報告があり、議論された問題点や提言について説明があった。委員会の報告書については学会誌やホームページで公表し、第35回年会・合同シンポ(JSR2022)では企画講演を行うとの説明があった。
9. AOFについて
朝倉前会長より、11月26日に新MOU締結が行われること、AOFSSRの事務を行う事務員を雇用し、Web作成やメンバー管理などの事務業務をお願いすることになったこと、原田慈久先生(物性研)とともに解良聡先生(分子研)がSecretaryを務めることになったこと等、報告があった。

評議員会日程(予定)の確認

第133回評議員会	2022年1月6日(木)	
	場所: Web (Zoom) 会議で開催予定	
第134回評議員会	2022年4月9日(土)	場所: 未定
第135回評議員会	2022年7月9日(土)	場所: 未定
第136回評議員会	2022年10月22日(土)	場所: 未定

■会員異動

第132回評議員会(2021年10月30日)で承認

《正会員入会》

鈴木 博人 東北大学 学際科学フロンティア研究所 新領域創成研究部
塩澤 真末 大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構 加速器研究施設 加速器第六研究系
本城 嘉章 理化学研究所
稲葉 健斗 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
小田切 薫敬 日産化学株式会社 物質解析研究部
西野 玄記 高輝度光科学研究センター
杉田 健人 分子科学研究所
Leonard Chavas 名古屋大学シンクロtron光研究センター
張 文雄 東京大学物性研究所
大原 麻希 量子科学技術研究開発機構 量子生命科学研究所
熊谷 嘉晃 東京農工大学大学院工学府先端理工学部
小林 慎太郎 公益財団法人 高輝度光科学研究センター回折・

散乱推進室

Jaemyung Kim RIKEN
 梁 暁宇 東北大学多元物質科学研究所
 大下 宏美 高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所量子ビーム連携研究センター
 仲谷 友孝 京都大学産官学連携本部
 村川 武志 大阪医科薬科大学医学部生化学教室

以上17名

《学生会員入会》

大石 健太 東京理科大学先進工学部マテリアル創成工学科小銅研究室
 岡田 佳助 高知大学 理工学部数学物理学科
 廣原 匠 日本大学理工学研究科量子理工学専攻加速器科学研究室
 武田 崇仁 東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻
 岡田 茉佑子 東京理科大学先進工学部マテリアル創成工学科
 杉田 涼介 東京理科大学先進工学部マテリアル創成工学科
 萬條 太駿 名古屋大学
 原 武史 名古屋大学大学院工学研究科応用物理学専攻
 細木 雄斗 名古屋大学大学院工学研究科応用物理学専攻
 潮崎 羽 京都大学大学院人間・環境学研究科相関環境学専攻
 松毛 佑太 東京理科大学先進工学部マテリアル創成工学科
 笠松 大起 東京理科大学先進工学部マテリアル創成工学科
 田渡 琉音 福島大学共生システム理工学類産業システム工学専攻
 刀根 三聖 東京理科大学先進工学部マテリアル創成工学科
 中林 荘太 名古屋大学工学部物理工学科
 栗本 晋之介 名古屋大学工学部物理工学科
 西野 史 千葉大学融合理工学府 先進理化学専攻物質科学コース
 入山 陽仁 名古屋大学工学部物理工学科
 杉江 知輝 立命館大学理工学部物理科学科
 青戸 仁志 名古屋大学工学研究科工学研究科
 上松 航太 名古屋大学工学研究科物質科学専攻松山研究室
 増谷 公太 兵庫県立大学工学研究科物質計測化学研究グループ
 平松 佳恵 兵庫県立大学大学院工学研究科応用化学専攻工学研究科応用化学専攻
 西尾 大輝 東京理科大学理学部応用物理学科
 田中 利幸 兵庫県立大学大学院工学研究科応用化学専攻
 山川 笑子 京都工芸繊維大学工芸科学研究科機能物質化学専攻
 高橋 裕之介 東京理科大学理学研究科応用物理学専攻
 中本 敦啓 兵庫県立大学工学部材料工学科
 畠山 和也 東京理科大学大学院理学部研究科応用物理専攻
 林 約立 北海道大学触媒科学研究所触媒表面研究部門
 赤木 翔真 兵庫県立大学大学院工学研究科応用化学専攻
 山岡 秀介 京都工芸繊維大学工芸科学部応用化学課程
 藤井 智弥 京都工芸繊維大学工芸科学部応用化学課程
 馬場 愛実 京都工芸繊維大学
 谷口 真菜 名古屋工業大学
 杉原 大騎 国立大学法人名古屋工業大学
 宮川 彰平 東北大学大学院理学研究科物理学専攻微視的構造物

性研究室

小川 宇宙 熊本大学自然科学教育部理学専攻物理科学コース
 立川 慎吾 大阪大学大学院理学研究科物理学専攻
 宮井 雄大 広島大学先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻物理学プログラム放射光物性研究室
 西岡 幸美 広島大学理学部物理学科
 山上 遼 熊本大学大学院自然科学教育部理学専攻物理科学コース赤井一郎研究室
 浜原 健太 大阪府立大学工学研究科電子・数物系専攻 電子物理工学分野
 杉山 貴哉 広島大学大学院先進理工系科学研究科物理学プログラム光物性研究室
 辻 駿哉 電気通信大学庄野研究室
 田村 浩太郎 大阪府立大学工学研究科電子数物系専攻
 後藤田 将史 大阪府立大学大学院工学研究科電子・数物系専攻電子物理工学分野
 笠原 理加 大阪大学基礎工学研究科物質創成専攻
 和田 哲弥 東京大学理学系研究科物理学専攻
 藤本 直央 大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻 物性物理工学領域
 川上 竜平 東北大学理学研究科物理学専攻
 岡野 諒 東京大学工学系研究科電気系工学専攻
 村本 雄太 名古屋大学大学院理学研究科物質学専攻(化学系)
 泉 瞭 兵庫県立大学大学院理学研究科物質科学専攻
 野末 悟郎 大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻
 坂野 碩保 広島大学大学院先進理工系科学研究科物理学プログラム
 田中 優人 大阪大学工学研究科物理学系専攻精密工学コース
 福島 優斗 東京大学 物性研究所
 松永 和也 名古屋大学大学院工学研究科材料デザイン工学専攻
 西岡 拓真 大阪大学基礎工学研究科物質創成専攻
 浅利 真人 弘前大学大学院理工学研究科数物科学コース
 太田 美希 山形大学大学院理工学研究科
 三澤 龍介 東京大学大学院新領域創成科学研究科物質系専攻木村剛研究室
 村田 洋人 名古屋工業大学大学院工学研究科工学専攻物理工学系プログラム
 佐藤 功真 名古屋大学大学院理学研究科物質学専攻(化学系)
 新井 陽介 東京大学物性研究所近藤研究室
 板本 航輝 九州大学総合理工学府物質理工学専攻
 加藤 慧悟 広島大学理学部物理学科
 四之宮 諒 広島大学理学部物理学科
 陳 奕同 大阪大学理学研究科物理学専攻 光物性研究室
 川口 海周 東京大学物性研究所理学系研究科・物理学専攻近藤研究室
 工藤 佳生 東京大学理学系研究科化学専攻
 戸塚 務 東北大学大学院工学研究科材料科学総合学科
 加藤 剛臣 東北大学理学研究科物理学専攻
 廣森 慧太 広島大学先進理工系科学研究科物理学プログラム電子物性研究室
 加藤 盛也 広島大学大学院先進理工系科学研究科 物理学プログラム電子物性研究室

山本 涼輔 東京大学理学系研究科化学専攻
吉川 和輝 富山大学院理工学教育部物理学専攻

以上78名

飯田 敏 富山大学 理学部 物理
佐藤 衛 横浜市立大学大学院生命医科学研究科
有本 收 京都薬科大学物理学分野
大熊 春夫 大阪大学核物理研究センター

以上12名

《シニア会員入会》

佐藤 能雅 東京大学
安藤 正海 東京理科大学 総合研究機構 DDS研究センター
千川 純一
篠原 邦夫 早稲田大学理工学術院・総合研究所 理工学研究所
曾田 一雄 名古屋大学大学院工学研究科物質科学専攻
青木 貞雄 筑波大学 物理工
高橋 淳一 横浜国立大学大学院工学研究院機能の創生部門
安岡 則武 理化学研究所 播磨研

《退会会員》

正会員28名，学生会員10名，賛助会員 1社 1口

《会員数》

会員 1202名（内学生132名） 名誉会員 2名 シニア会員 98名
賛助会員 45社（47口） 特別賛助会員 14団体（21口）

● オンライン会誌利用方法に関するご案内 ●

オンライン会誌は、放射光学会ホームページ右上にある、学会誌バックナンバー（<http://www.jssrr.jp/journal/index.html>）からご覧いただけます。

2021年（Vol.34）と2022年（Vol.35）の学会誌閲覧にはユーザー ID とパスワードの入力が必要になります。ユーザー ID とパスワードは

User ID: jsr351

Password: y2tdsR4a

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

オンライン会誌に関してご不明な点がございましたら、事務局（jssrr@jssrr.jp）までご連絡下さい。

■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2022年 1/12 -2/28	第72回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」	オンライン開催	公益社団法人 日本表面真空学会 E-mail: office@jvss.jp	35・1
2/9	第236回研究会/第69回化合物新磁性材料専門研究会「新しい磁性研究のための量子ビームと計算科学の連携利用」	オンライン開催	公益社団法人 日本磁気学会 E-mail: msj@bj.wakwak.com	35・1
2/7 -3/15	第1回オンライン真空応用技術講座	オンライン開催	公益社団法人 日本表面真空学会 E-mail: office@jvss.jp	35・1
3/7-9	2021年度量子ビームサイエンスフェスタ	オンライン開催	高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所, J-PARC センター, 総合科学研究機構 (CROSS), PF ユーザーアソシエーション (PF-UA), J-PARC MLF 利用者懇談会 E-mail: qbsf2021-office@ml.j-parc.jp	34・6
5/31 -6/3	第9回硬 X 線光電子分光に関する国際会議	アクリエ姫路 (姫路市文化コンベンションセンター)	理化学研究所 放射光科学研究センター, HAXPES2022実行委員会 E-mail: haxpes2022@spring8.or.jp	34・6
9/4-9	第18回液体及びアモルファス金属国際会議	JMS アステールプラザ 広島市国際青年会館	第18回液体及びアモルファス金属国際会議組織委員会 E-mail: office@lam-18.hiroshima-u.ac.jp	34・6

■第72回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」

主催：公益社団法人 日本表面真空学会
 協賛：日本放射光学会, 他
 日時：2022年1月12日 (水)～2月28日 (月)
 場所：オンライン開催
 問合せ先：
 公益社団法人 日本表面真空学会
 〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-16 石川ビル 5階
 TEL：03-3812-0266 FAX：03-3812-2897
 E-mail: office@jvss.jp
 詳細：<http://www.jvss.jp/>

■第1回オンライン真空応用技術講座

主催：公益社団法人 日本表面真空学会
 協賛：日本放射光学会, 他
 日時：2022年2月7日 (月) 12時～3月15日 (火) 12時
 場所：オンライン開催
 問合せ先：
 公益社団法人 日本表面真空学会
 〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-16 石川ビル 5階
 TEL：03-3812-0266
 E-mail: office@jvss.jp
 詳細：<https://www.jvss.jp/>

■第236回研究会/第69回化合物新磁性材料専門研究会 「新しい磁性研究のための量子ビームと計算科学の連携利用」

主催：公益社団法人 日本磁気学会
 協賛：日本放射光学会, 他
 日時：2022年2月9日 (水)
 場所：オンライン開催
 問合せ先：
 日本磁気学会事務局
 TEL：03-5281-0106
 E-mail：msj@bj.wakwak.com
 詳細：https://www.magnetics.jp/event/topical_236/